

自己評価結果公表シート

認定こども園 山のまち

1. 教育・保育 目標

| |
|--|
| 「喜びをもつ子ども」（どんなことも、喜びにかえて生きる力を育てる） <ul style="list-style-type: none">・ ころもからだも元気な子 （生理的要求が満たされ、情緒の安定を図る）・ 努力する子ども （自分からしようとする積極的な態度を養う）・ けじめのつく子ども （その場の状況を判断して行動をコントロールする力を育てる）・ 人の気持ちがわかる子ども （いろいろな感情や情動を体験することで、人のことを思う心を育てる） |
|--|

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した評価の具体的な目標や計画

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 第三者評価の受審に向けて教育保育の充実・ 様々な視点から見る保育環境の整備・ 地域交流の充実を図る |
|---|

3. 自己評価の実施内容と評価項目の達成及び取組状況

| | |
|----------|---------------------------|
| 自己評価実施時期 | 令和6年11月21日（木） 14:00～15:00 |
| 参加者 | 【山のまち】 園長、主幹保育教諭、リーダー職員 |

| 評価項目 | 評価・結果 | 理 由 |
|-------------|-------|---|
| (1) 教育保育の充実 | B | 第三者評価受審を機に教育保育の見直しやマニュアルの内容等も見直していく。 |
| (2) 保育環境の整備 | B | ねらいを持った環境構成や適切な玩具の提供をさらに深めていく。 |
| (3) 地域交流の充実 | C | 園庭開放に関して内容などの見直しをする。 また、高齢者との交流についても内容の充実を考える。 |

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 評価・結果 | 理 由 |
|-------|---|
| B | <ul style="list-style-type: none">・ 教育保育の現状 第三者評価受審により、改めて職員間で評価基準を見直し、職員が教育保育の内容について考える機会となり、資質向上につながっている。・ 保育環境の整備 子どもの興味関心や発達の姿により環境構成を見直す事の必要性や、また子どもの導線や発達段階にも着目し、適切な環境構成を整える。・ 地域交流の充実 園庭開放については同じ内容になっており、魅力的な内容を考えていきたい。 地域の方々との交流について、各種団体とも協議して内容を検討していきたい。 |

※ 「3」「4」の評価結果の表示方法

| | |
|---|--------------------|
| A | 十分達成されている |
| B | 達成されている |
| C | 取り組まれているが、成果が十分でない |
| D | 取り組みが不十分である |

5. 公開保育の実施内容

| | |
|------|--|
| 実施日程 | 令和6年12月18日(水) 9:00~13:00 |
| 参加者 | 【山のまち】 園長、主幹保育教諭、保育教諭(13名) 【おっこう山】 園長、スーパーバイザー、副主幹保育教諭 保育教諭(1名) |
| 実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・みてみて保育 ・登園時の様子や合同活動の様子をみる ・各クラスの保育について、第三者評価の評価基準でみる ・行事の様子(クリスマスコンサート)から保育をみる。 ・乳児の食事の提供状況をみる ・ディスカッション |

6. 施設関係者評価

| | |
|----------|--|
| おっこう山参加者 | <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスコンサートは子どもたちがとても楽しんでいて、保育者も笑顔で保育をしていたが、クリスマスのワクワク、ドキドキする雰囲気作りに工夫があってもよかったと思う。 ・子どものやりたいを大切に保育していることが感じられた。 ・あそびと生活の環境の工夫がみられた。 <p>[第三者評価の視点から]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラス的环境構成が子どもの姿に合ったものと感じた。子どももしっかりあそびこむことができている、先生の関りも丁寧で、しっかりと一人一人の成長に繋がっていることを感じた。 ・重要事項説明書の設置場所が分かりにくい。 ・行事について、「なぜやっているのか」を職員全員が意図が分かるように共有すべき。 ・保育の提供は均一感が必要である。それぞれに見合った保育をしているのか、あそび・生活の工夫ができているかなど考えていく。見つめ直すきっかけになるよう行動を考える。 ・保育の流れも園全体として落ち着いており、先生方の連携がしっかりとれていることを感じた。 ・ブレインについて、成長の姿を知らせることを意識し、伝わる文章を記入する。 |
|----------|--|

7. 今後取り組むべき課題

| 課題 | 取組み方法 |
|-----------|---|
| 保育環境・保育内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味や関心を大切に、適切な環境を整える。 ・さまざまな経験をとおして、こども達に「どんなことも、喜びにかえて生きる力を育てる」 |
| 地域交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放については、ニーズに合った内容を考えたり、桜の宮児童館などと連携をしていく。 ・近隣の関係団体や福祉センターと連携を取り、交流会などを考えていく。 |